

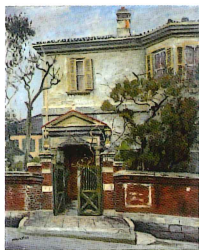
企画展

生誕120年記念 小松益喜の作品で神戸散歩

ーせっかくなのでヨーロッパにも！

4月20日(土) ▶ 6月16日(日)

- 4 本年生誕120年を迎える小松益喜(1904-2002)
- 5 は、高知市に生まれ、東京美術学校で学びました。
- 6 縁あって神戸に住むことになり、異人館を描き続けた画家です。ありし日の神戸の様子がとどめられた懐かしい風景の情感に触れていただければと思います。あわせて、小松が現地で描いたヨーロッパ風景も紹介します。時空を超えた脳内散歩(?)をお楽しみください！



小松益喜《古風な門・古風な家》1936-37年頃 当館蔵

特別展

はしもとみお展 - 時を刻むいきものたち -

6月29日(土) ▶ 9月16日(月)

- 7 ふれあった動物との思い出が込められて
- 8 いるからでしょうか？はしもとみお(1980
- 9 -)が制作する動物たちの彫刻は、ぬくもりや息づかいまでも感じさせます。本展は、「時間」をテーマに、モデルの動物たちが生きてきた時間と、はしもとみおが過ごしてきた時間をつないだ軌跡をたどります。新作を含む彫刻やスケッチなど、制作の背景も紹介します。



《ゴン》2023年 個人蔵 撮影：ウラタカヒデ

特別展

響きあう絵画 宮城県美術館コレクション

カンディンスキー、高橋由一から具体まで

10月5日(土) ▶ 2025年1月26日(日)

- 10 宮城県美術館は1981(昭和56)年に宮城県仙台市に開館しました。継続的な収集活動により、現在は7,000点を超える作品を収蔵しています。本展は、明治から昭和に至る近代絵画を中心に、カンディンスキーやクレーなど、同美術館のコレクションを代表する作品を紹介するものです。
- 11
- 12
- 1 少し遠いところから、名画たちが神戸にやってくる、またとない機会です！



満谷国四郎《裸婦》1915年 宮城県美術館蔵

第11回 日展

2月15日(土) ▶ 3月23日(日)

- 2
- 3

「日展」神戸展が、2023年から引き続き六甲アイランドで開催されます。日展は、明治40年の文展に始まり、戦後、「日展」となった長い歴史と伝統を誇る美術展です。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5科で構成され、全国巡回の基本作品と、兵庫・大阪・奈良・和歌山の地元入選作品をあわせて一堂に展覧します。本展は、神戸ファッション美術館との合同展示です。



ご利用案内

開館時間 午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日 (祝日の場合は開館)

4月30日(日)、5月7日(日)、7月16日(日)、8月13日(日)、10月15日(日)、
11月5日(日)、12月29日(日)～1月3日(月)、1月14日(日)、2月25日(日)
展示替などの臨時休館日

詳しくは美術館ホームページでご確認ください

■ 企画展入館料 一般 200円 (150円)、大学生・65歳以上 100円 (50円)

- ・ ()内は30名以上の団体割引料金
- ・ 高校生以下・神戸市在住の65歳以上の方、無料
- ・ 小磯記念美術館、神戸ファッション美術館の入館券(半券)をお持ちの方、割引

■ ■ ■ 入館料は展覧会ごとに異なります